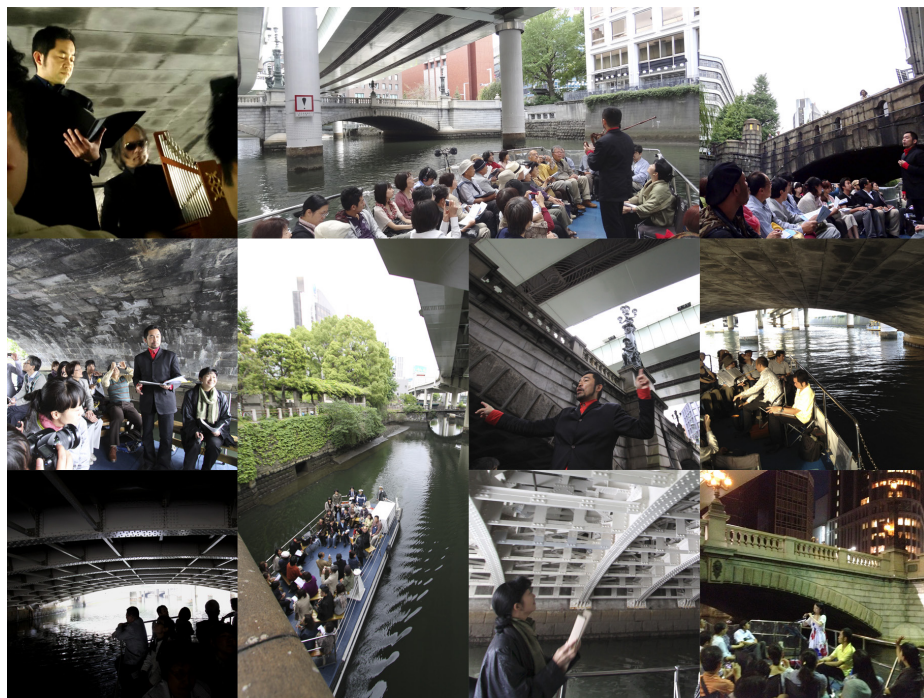


サウンドスケープから読む都市(1)

～川面の音楽を通して都市を聴く～

キュレーター 鳥越けい子
協力 鷺野宏 (都市楽師プロジェクト)
講師 鳥越けい子 + 鷺野宏

「サウンドスケープ(音の風景)」から都市を体験したとき、私たちは先ずそれまで意識しなかった聴覚的な景観の存在に気づきます。同時に「聴覚」を手がかりに五感さらには全身感覚によってとらえる都市の魅力や問題点を探り「形にならないイメージや記憶」から都市を読むことができるようになります。「サウンドスケープ論」を学びながら、今年の秋、東京で開催される「川面の音楽会」への参加を通じて、その体験から現代日本の都市の問題およびその計画論をめぐる課題とその解決策を共に考えます。



都市楽師プロジェクトが東京の川面で実施する音楽会 ― 今年5年目を迎える〈名橋たちの音を聴く：日本橋川篇〉と今年初めて実施する〈名橋たちの音を聴く：神田川篇〉のいずれか― に参加し、その体験を通じて、サウンドスケープという考え方の本質と、それに基づく都市論を理解し、新たなアクションプランを提案します。

主催 日本デザイン機構

【日程】

授業の方法：講義・演習・フィールドワーク

10/18 (土)	1. フィールドワーク1：<名橋たちの音を聴く：日本橋川篇>への参加
11/ 1 (土)	2. フィールドワーク2(補講)：<名橋たちの音を聴く：神田川篇>への参加
11/ 4 (火)	3. 講義(サウンドスケープ論)と演習(参加者とのディスカッション)
11/18 (火)	4. 講義(都市論)と演習(参加者とのディスカッション)
12/ 2 (火)	5. 川面から都市を聴く：新たなデザインアクションへ

※ 火曜日はいずれも「19:00-21:00」の開催となります。

参考書

鳥越けい子著『サウンドスケープ:その思想と実践』(SD選書)

マリー・シェーファー著『サウンドエデュケーション』他

★必要に応じて関連資料を配布します。

【定員】 15名(お申し込み完了順となります)

【参加費】 (講義と演習) 3回分通して9,000円 [毎回授業料2,000円+軽食代1,000円×3回]

☆お支払い：参加費は事前振込となります。お申し込み後、メールにて振込口座等お知らせいたします。ご入金を確認しだいお申し込み完了のお知らせと受講票をお送りします。また、各回受講も可能です。その場合、受講料2,500円+軽食代1,000円を当日会場で受付ます。

(フィールドワーク) <名橋たちの音を聴く：日本橋川篇>は4,000円

<名橋たちの音を聴く：神田川篇>は3,000円が別途かかります。

【申込方法】 (講義と演習) 講座タイトル、氏名、住所、勤務先(学校名)、連絡先(メールアドレスと電話番号)を明記の上、下記のメールアドレスまでお申し込みください。

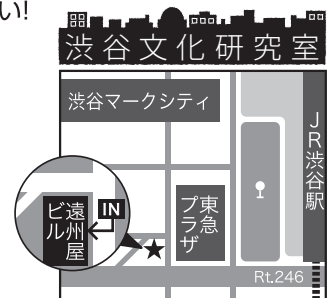
Design DOO事務局 / designdoo@voice-of-design.com

(フィールドワーク) 参加費は各自で「都市楽師プロジェクト」のサイト

<http://toshigakushi.com/> を通じてお申し込みください!【会場】 (講義と演習) 渋谷文化研究室(渋谷駅から徒歩2分)
渋谷区道玄坂1-8-1 5F tel:03-6427-8842

(フィールドワーク1) 日本橋川の船上(日本橋・江戸橋周辺)

(フィールドワーク2) 神田川の船上(聖橋～和泉橋)



鳥越けい子 (サウンドスケープ・デザイナー)



日本各地の音文化の調査研究をおこないつつ、「サウンドスケープ(音の風景)」から「形あるもの・見えるモノを超えた環境」をテーマに、生活文化の継承や伝統文化の新たな活用を視座に入れたまちづくり、環境をめぐるデザインから保全に至る各種のプロジェクト、都市をフィールドにしたワークショップを展開している。専門は、音の環境文化学、環境美学、音・音楽とまちづくり。現在、青山学院大学総合文化政策学部教授。

鷺野宏 (都市楽師プロジェクト主宰)



アートディレクター/デザイナー。
芝浦工業大学卒(曾根幸一・環境設計研究室)。代議士秘書を経て、2007年鷺野宏デザイン事務所を設立。グラフィックデザインやアートプロジェクトを中心に活動。主宰する「都市楽師プロジェクト」では、音や音楽を刺激として建築や都市の「その場らしさ」を共有していくプログラムを日本橋をはじめとして、様々な歴史的空間で実践している。